

No.229	木質バイオマスを原料とするバイオエタノール/持続可能な航空燃料(SAF)の社会実装に向けた伴走調査	
機関名	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)	
募集締切(公募機関)	2026年3月30日(月) 正午	
本部研推締切日	研究推進部 事前連絡締切日	2026年3月16日(月)
	原議書提出締切日	2026年3月23日(月)
応募方法	<p>電子申請システム「Jグランツ」上で応募申請してください。</p> <p>※本公募は事務局において事前了解の手続きを行いますが、「Jグランツ」への応募情報の入力には各申請者が行ってください。</p> <p>※「Jグランツ」登録の際、GビズID取得については、「個人事業主」として、研究代表者ご本人にて登録願います。 登録に関する詳細については、下記資料を参照ください。</p> <p><GビズIDクイックマニュアルGビズIDプライム編(個人事業主)> https://gbiz-id.go.jp/top/manual/pdf/QuickManual_Prime_sole-proprietor.pdf</p> <p><GビズID申請URL> https://gbiz-id.go.jp/top/apply/create_prime.html</p> <p><NEDO事業の公募におけるJグランツでの応募受付について> https://www.nedo.go.jp/koubo/ZZAN_100061.html</p>	
所属研究機関の承認(e-Rad)	不要	
研究推進部 事前了解 (原議書の回付)	必要	
概要	<p>バイオものづくり革命推進事業では、多様な原料と多様な製品を出口としたバイオものづくりのバリューチェーンの構築に必要な技術開発や社会システム実証を行い、製造プロセスのバイオものづくりへの転換とバイオものづくり製品の社会実装を推進し、ひいては我が国の産業競争力の強化と社会課題の解決を目標として事業を推進しています。</p> <p>バイオものづくりは、遺伝子改変技術等により、微生物等が従来保有する物質生産能の増強や新しい目的物質の生産能の獲得、あるいは原料の酵素分解等による目的物質の取得を可能にするテクノロジーです。先行して取り組まれている医薬品や食品に留まらず、化学品・素材・繊維・燃料など多様な産業領域での活用が見込まれており、従来の化石資源を原料とした様々な製造プロセスを置き換える「持続可能なものづくり」として、バイオものづくりは次世代の産業基盤となり、我が国の競争力の核となることが期待されています。</p> <p>木質バイオマスは、バイオものづくりにおける原料として、賦存量や炭素排出量、サーキュラーエコノミーの実現などの観点からその活用が期待されており、中でも、木質バイオマスを原料とするバイオエタノールや持続可能な航空燃料(SAF)は脱炭素社会の実現に資する燃料の1つとして普及が大きく期待されています。</p> <p>その一方で、木質バイオマスを原料とするバイオエタノールや持続可能な航空燃料(SAF)は、既存燃料と比較して一般的にコストが高いという課題やCORSLA認証適合に向けた課題など、社会実装に向けて乗り越えるべき課題が多くあります。</p> <p>そこで本調査では、木質バイオマスを原料とするバイオエタノール/持続可能な航空燃料(SAF)の社会実装に向けて、多角的な視点での価値訴求を行うとともに、CORSLA認証適合に向けて必要な調査・検討を実施します。</p>	

※ 貴部局にて申請がある場合は、事前連絡締切日までに所定の《事前連絡様式》にて、研究代表者名・研究分担者名等の連絡をお願い致します。

※応募に関するお問い合わせは各部局の担当者までお願いします。